

科目名 (Subject)	ミクロ経済学I Microeconomics I		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	中島大輔 (中島) NAKAJIMA, Daisuke	研究室番号 (Office)	442
Office Hours	TBA		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method)</p> <p>目的：大学院初級レベルでのミクロ経済学の理解 本科目では、大学院 1 年生の標準的なミクロ経済学を行う。具体的には個人の意味決定問題、具体的には消費者行動の理論、企業行動の理論、およびその結果の需要・供給分析（部分均衡分析）を扱う。</p> <p>どのような社会経済においても資源は稀少である。ミクロ経済学では、その資源が、経済活動の中でいかに配分されるか、資源を受け取る価格はどのように決まるかを考察する。前半は、これらの資源配分と所得分配の問題を市場メカニズムにより分析する。後期のミクロ経済学 II では、それらの問題をゲーム理論により分析する。</p> <p>方法：担当教員による講義と受講生による発表 トピックごとに教科書に沿った Lecture Notes を使って基本的な内容を講義した後、受講生にはいくつかの Exercise に取り組んで発表してもらう。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents)</p> <p>以下のトピックを順に講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 意思決定理論の基礎 3. 消費者行動の理論 4. 企業行動の理論 5. 均衡分析・余剰分析 <p>3. 使用教材 (Teaching materials)</p> <p>メインテキスト：神取道宏 『ミクロ経済学の力』, 日本評論社, 2014. 参考書: A. Mas-Colell, M. D. Whinston, & Jerry R. Green; <i>Microeconomic Theory</i>, Oxford University Press, 1995.</p> <p>4. 成績評価の方法 (Grading)</p> <p>期末試験(60%)と宿題・発表(40%)によって評価する。</p> <p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)</p> <p>経済学コース成績評価統一基準を参照。</p> <p>6. 履修上の注意事項 (Remarks)</p> <p>基本的な集合論、線形代数と微積の知識があるとより望ましい。後期のミクロ経済学 II と併せて履修することを勧める。</p>			